

地域メディアとしての ケーブルテレビの役割

2016年5月20日

STV 須高ケーブルテレビ株式会社

代表取締役社長 丸山 康照

(日本ケーブルテレビ連盟 コンテンツ特別委員長)

須高ケーブルテレビ 会社概要

<サービスエリア>

- ◆長野県須坂市
- ◆長野県小布施町
- ◆長野県高山村

■本社 長野県須坂市北横町1295-1 シルキービル

■開局 平成1年8月1日

■資本金 1億9,600万円

■対象世帯数 26,000世帯

■サービス内容

- ・多チャンネルテレビ放送
- ・高速インターネット(光コラボ)
- ・プライマリー電話
- ・MVNO
- ・シティプロモーション事業



須坂市臥竜公園(桜名所100選)



小布施町 栗の小路



高山村 松川溪谷の紅葉(紅葉100選)

地域創生プロジェクト これまでの実績

(2005年～)

デジタルアニマルパーク(バーチャル動物園 須坂市動物園)開園

(2006年～)

信州高山村と女子美術大学との産学官連携事業

(2007年)

子ども向けデジタルワークショップの開催 (2007年～2012年)
須高三市町村と「災害時の放送応援協定」締結

(2009年)

地域見守り支援システム実証事業(経産省)
須高地区全小中学校の避難場所に「災害支援情報端末」設置

(2012年～)

長野県須坂市シティプロモーション事業

(2015年)

公的個人認証の民間活用実証(総務省)

(2013年)

須高三市町村の災害本部との無線回線を冗長整備(総務省)
スマートフォン向けAR観光アプリ「須坂まちウォーク」の開発・運営

高山村・女子美術大学との産学官連携事業

信州高山村の情報発信とブランディングを ケーブルテレビが企画・運営！（2006年～）

キーワードは「学生の視点からアートで町おこし」
10年間で延べ600人の大学関係者・学生が参加！

全国りんご
アートコンテスト

デザインプロジェクト
りんごやぶどうのパッケージデザイン

高山産100%のワイン醸造
オリジナルラベル制作

バスストップ
ギャラリーの制作

屋外アート制作活動
「空の水族館」等

全国こどもアニメーション
フェスティバル

高山村・女子美術大学との産学官連携事業①



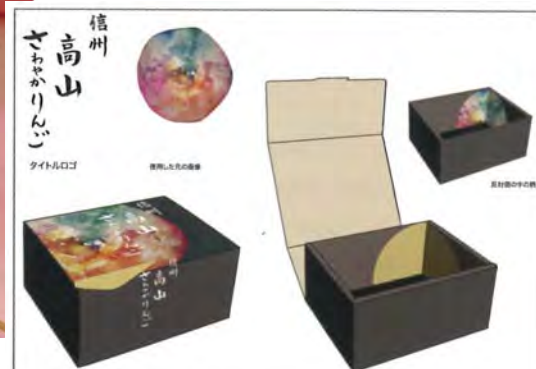
↑バスストップギャラリープロジェクト



↑ワイン醸造プロジェクト(古式ワインぶどう踏み)



↑高級リンゴ箱デザイン



↑ぶどう化粧箱デザイン



高山村・女子美術大学との産学官連携事業②



こどもアニメーション



↑ 全国子どもアニメーションフェスティバル



↑ オリジナルワイン「女子美シャルドネ」



↑ りんごアートコンテスト



↑ 10周年記念式典(2015年10月31日)

地域の「安心・安全」に対する取り組み



(2007年8月)
須坂市・小布施町・高山村と
「災害時における放送応援協定」を締結

(2009年2月)
災害時緊急避難場所に指定されている
須高エリア全ての小中学校の体育館に、
緊急災害時のテレビやインターネット回線が
無料で使用できる放送通信回線と
端末機器を設置・提供



(2005年～放送開始)
「地域情報チャンネル」
災害時に災害対策本部から、専用回線での
緊急中継も可能な24時間ライブの生活情報チャンネル

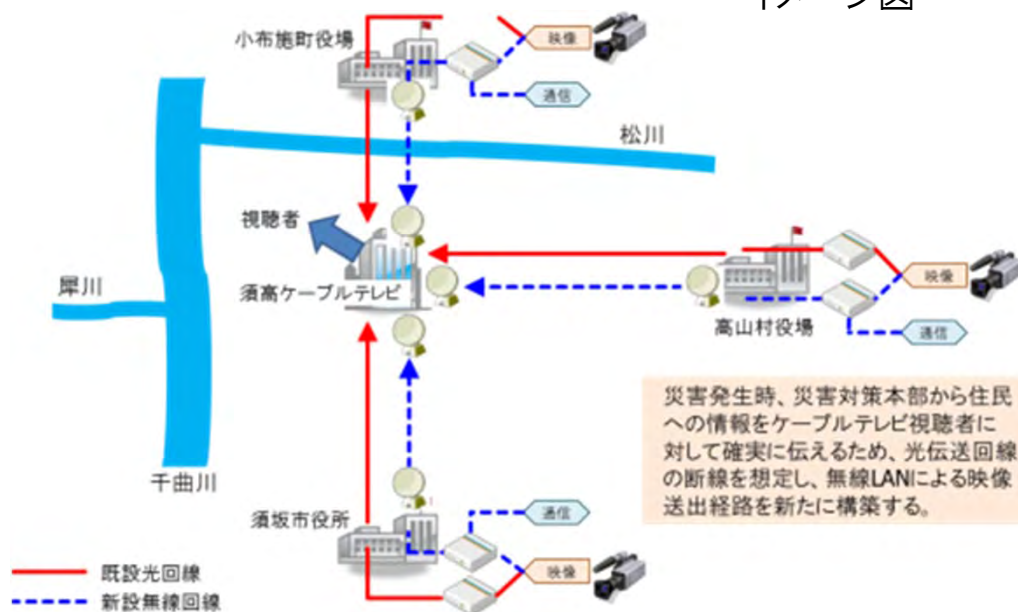
地域の「安心・安全」に対する取り組み

イメージ図

(2013年12月)

無線回線による須高三市町村の
災害対策本部との無線回線(2.3GHz)
冗長化完成

<総務省 地域公共ネットワーク等強じん化事業>



(2015年6月)

「すこう“あんしん”タブレット」
須坂市防災防犯メールを自動的にお知らせする
「プッシュ機能」と、須坂市・小布施町・高山村の
広報誌を閲覧できるリーダー機能を搭載



地域見守り支援システム実証事業

CATVのネットワークとデータ放送を活用し、医療機関の予約状況やお薬情報を提供する地域医療支援システムの実証。

● 地域見守り支援実証事業

予約

お薬

連絡先

お知らせ

テレビを見る

日時 12月24日(水) 15時30分

今日の予約はありません。
次にお薬を飲むのは13:00です。

須高在住の65歳以上の方を対象とした健康診断

● 地域見守り支援システム実証事業

現在の日時 1月2日(火) 10時00分

青ボタンで最初の画面に戻ります。

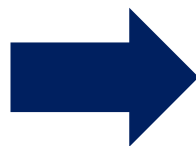
メールの閲覧

豊田 一郎	1/1
鈴木 三郎	12/31
本田 次郎	12/1
本田 次郎	10/1
鈴木 三郎	9/30
鈴木 三郎	9/1

おじいちゃん、こんにちは。
薬は忘れずに飲んでね。

リモコンの上下ボタンでご覧になるメールを選択してください。

ケーブルテレビSTBの
電源 ON/OFF



● 地域見守り支援実証事業

日時 12月24日(水) 15時30分

こんにちは、ご機嫌如何ですか？

● 今日のお薬
次にお薬を飲むのは12:00です。

● 今日の予約
3件あります。
次の予約は12:00からです。

戻る



PPP!

登録した家族に
安否メール発信

地域連携事業(須坂市シティプロモーション事業)

全国初！行政PRをケーブルテレビが受託！



地域経済
活性化

観光客
誘致

事業の目的

定住移住
促進

市民への
郷土愛醸成

ブランド化
促進

実際に須坂への観光客が増えることで、地域活性に繋げる

2015年度 活動実績

年間31回(37か所)のイベントに出展

(東京 大阪 金沢 愛媛 名古屋 新潟 富山 宮城 中国大連など)

■全国のケーブルテレビ連携 12局

■放送メディア(地上波・BS・CS他) 3局

■海外メディア(中国・大連)

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社(TOKYO MX)との連携

放送エリア(国内外合わせて)
約2,400万世帯で放映

中国大連向け“信州須坂”プロモーション

TOKYO MX



『明日、どこいくの!?!』

中国名：明天去哪儿!?!



中国の人気歌手チョウ・イさん、中国でカリスマ的な人気の日本人プロスノーボーダー平間さんをゲストに迎え、須坂市峰の原高原スキー場の「パウダースノー」を紹介

東京メトロポリタンテレビジョンと共同制作した番組は首都圏と視聴世帯数1,000 万以上をカバーする中国のテレビ局「大連テレビ放送局」で放送

2013年～

まち歩き誘導型情報配信プラットフォーム構築事業

AR Augmented Reality
(拡張現実)システム

【テーマ】「迷う」

時空を超越する拡張現実が作り出す地域の魅力発見

- ・時(時間)に「迷う」⇒歴史、風景、景観
- ・場所に「迷う」⇒巨大迷路、道(市街地を中心)
- ・人、食(味)に「迷う」⇒店の発見、人との交流



観光・文化

文化・観光による消費促進

- ◆イベント・スポット紹介
- ・観光地、交通情報、グルメ等紹介
- ・ライブ(開催中)イベント

まちづくり

域外域内からの誘客

- ◆商店、食事処の紹介
- ・クーポン券発行

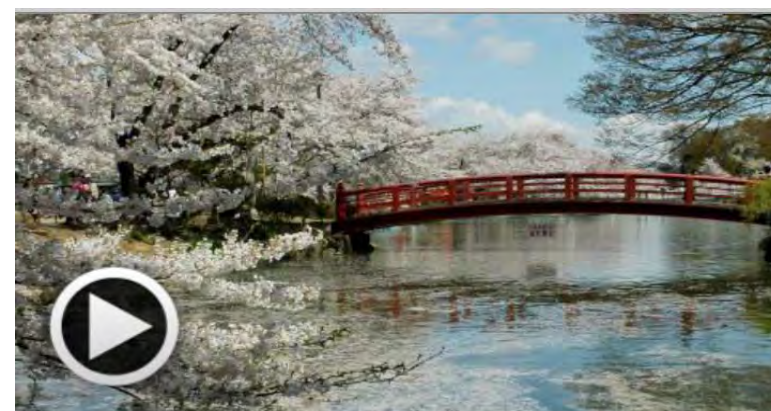
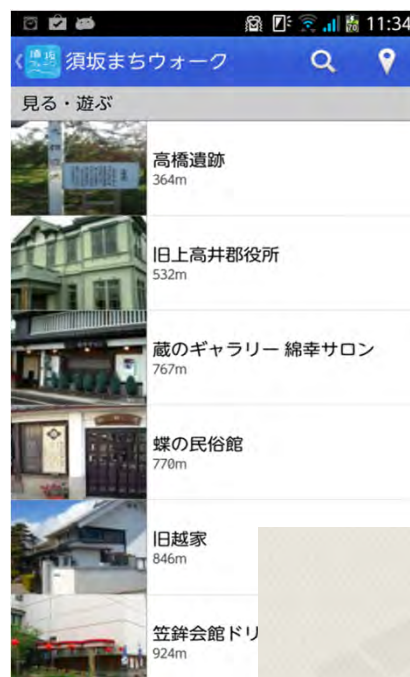
健康

地域住民が活動的に動く

- ◆ウォーキング、ランニング
- ・スタンプラリー
- ・歩数データの活用

観光客・須坂市民が楽しみながら“動く”システムの構築

ARアプリ「須坂まちウォーク」のご紹介



動画による説明



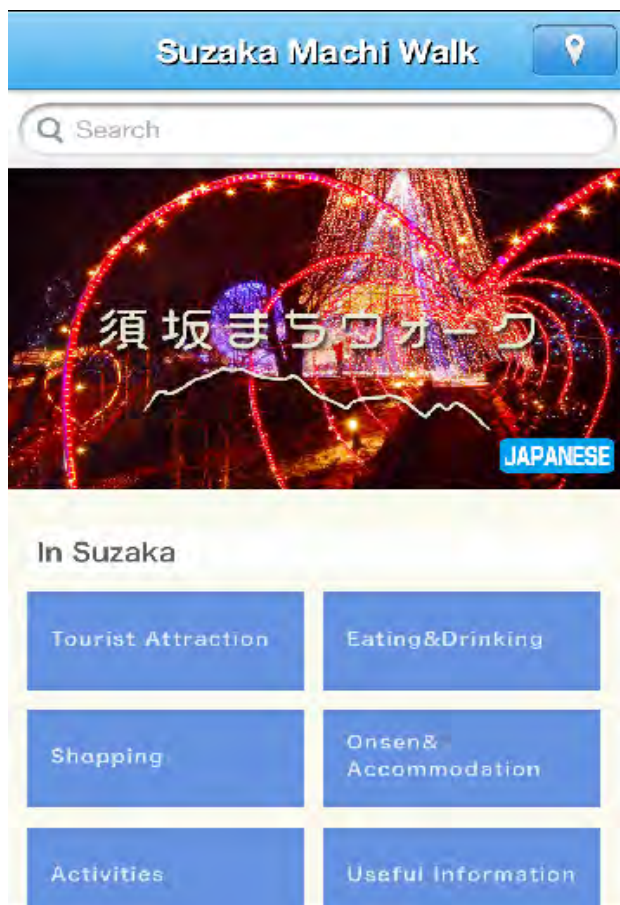
コンパスナビ機能



マップナビ機能

ARアプリ「須坂まちウォーク」のご紹介

<多言語対応機能とおもてなしアプリ>



英語・中国語



緊急避難所のナビ



お得なクーポン情報

2015年～

総務省 公的個人認証の民間活用実証

平成27年2月2日～2月15日

個人番号カード

(公的個人認証サービス民間活用実証用 模擬カード)



カード番号 1234 1234 1234

氏名

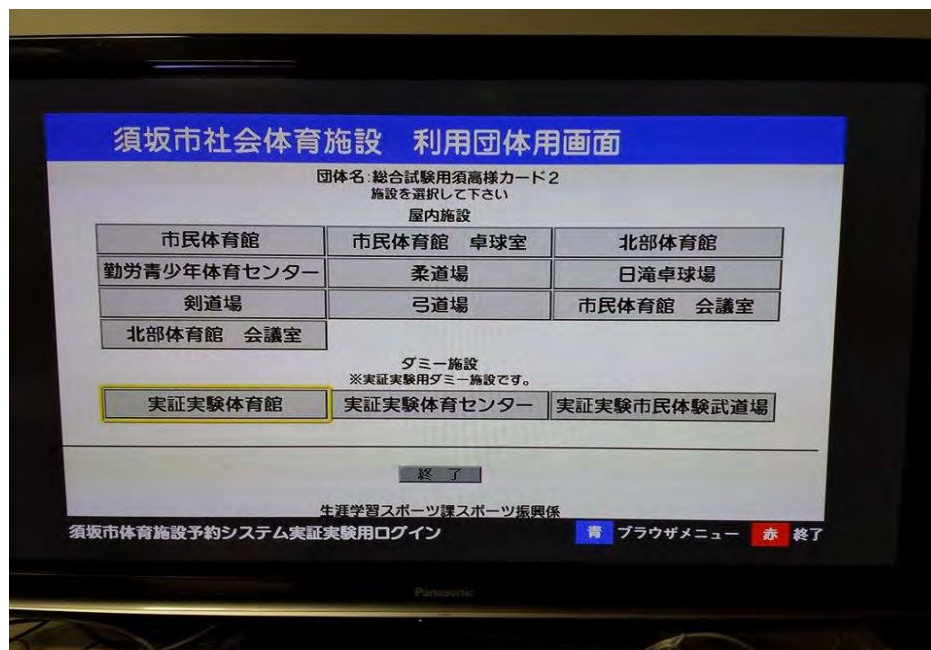
- このカードを他人に貸与または譲渡することはできません。
- このカードを紛失したとき、または盗難にあった場合は、連絡先までご連絡ください。
- このカードを拾得された方は、ご面倒でも連絡先までご連絡ください。

連絡先

須高ケーブルテレビ株式会社
026-246-1222(平日・土曜9:00～17:30、日・祝9:00～17:00)

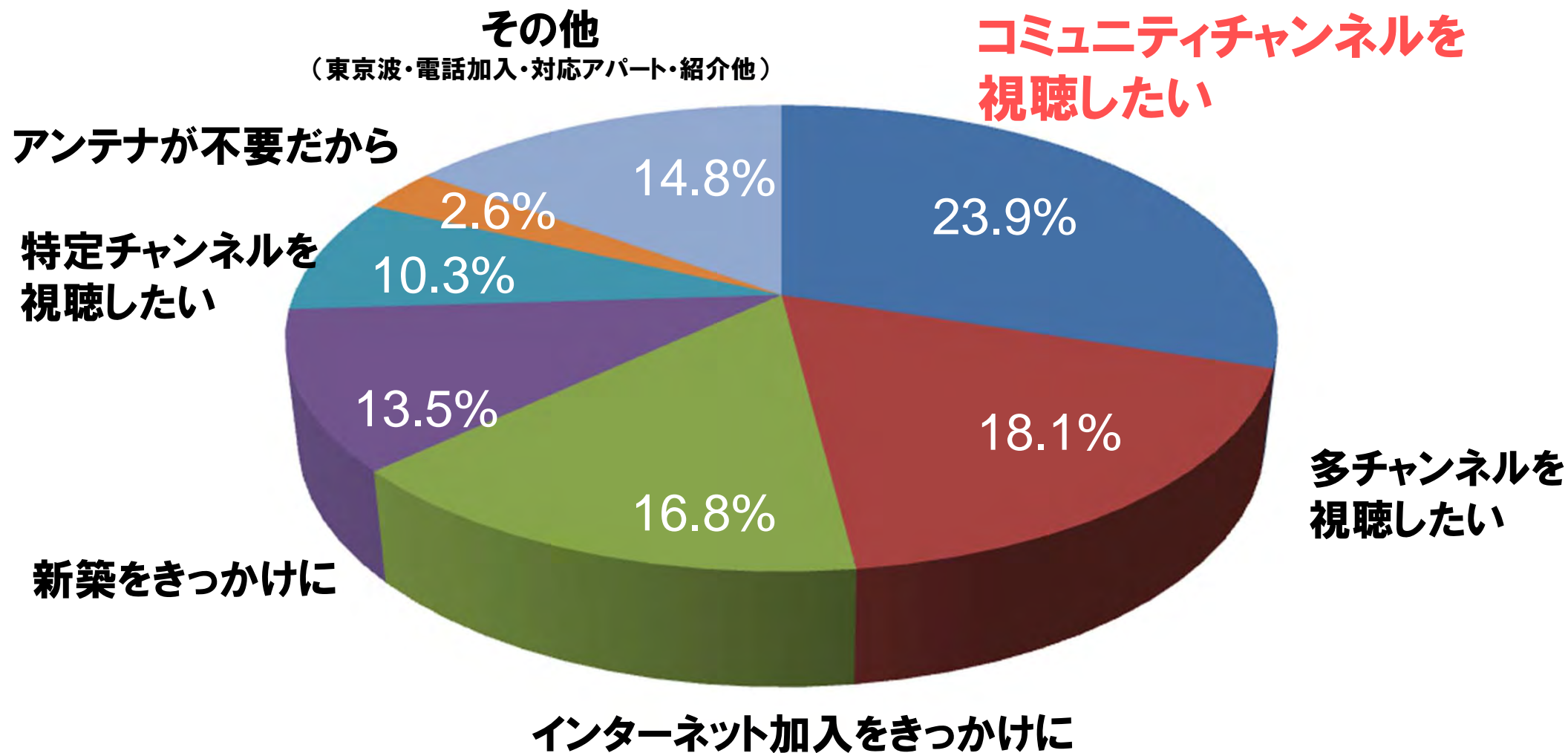
- 平成28年1月に、個人番号カードが交付される予定
- 総務省では個人番号カードを用いる公的個人認証サービスの活用シーンについて検討しており、その実現性を検証するために実証実験を実施

模擬個人番号カードを使った本人確認と ケーブルテレビを利用した 須坂市の施設予約の実証事業を実施



地域情報のニーズ

—加入動機調査—



(須高ケーブルテレビ 2015年度 加入動機調査より)

地域情報のニーズ

須高ケーブルテレビのコミュニティチャンネル



すこうチャンネル【121ch】
～自社制作比率83%～



高山村民チャンネル【122ch】
～自社制作比率52%～



地域情報チャンネル【111ch】
～自社制作比率100%～



お天気チャンネル【112ch】

ケーブル業界を取り巻く社会環境

ケーブル業界を取り巻く社会環境

1. ケーブルテレビビジネス

事業収支は 1兆2,500万円(前年度比+18.5%)

放送事業収支は 4,975万円(前年度比 Δ 1.1%)
と減少傾向

(出典:総務省)

ケーブル業界を取り巻く社会環境

2. 人口減少が加速化

15年後に全国の人口が1割も減少

平成42(2030)年に1億1,662万人

平成60(2048)年には1億人を割って
9,913万人となる推計値が公表

(出典:国勢調査/国立社会保障・人口問題研究所)

ケーブル業界を取り巻く社会環境

3. ケーブルテレビの

広域化、規模の拡大、多様化が加速

- (1) 事業の多角化、設備投資の増加、サービスの業態の変化等で、**事業者の規模の拡大・集約が加速**
- (2) 地域生活支援サービスや電力・ガスの小売り自由化、観光・文化事業の受託など、**サービスの多様化が加速**
- (3) オールケーブルでの**連携事業が必須**
ケーブル4Kチャンネル
ID連携基盤 地方創生サービス
無線系サービス (MVNO 地域BWA 他)

ケーブル業界を取り巻く社会環境

4. 放送事業者の在り方

- (1) 地域においてはローカル民放との
連携・再編が加速？
- (2) IP放送の普及と定着
通信事業分野へのタイムシフト
- (3) ケーブルテレビの定義 位置づけは？

ケーブル業界を取り巻く社会環境

5. 事業環境の変化

(1) 光コラボとの連携 NTT連携が加速化
インフラ事業からコンテンツ・ソフト事業へのシフト

(2) 顧客セグメントの変化

CATV加入者の世代構成が高齢化

時代の流れとともに消え去る運命？

若い人たちをターゲットにするのではなく、

地域をターゲットに！

ケーブル業界を取り巻く社会環境

～まとめ～

地域コンテンツを核とした
キラークンテンツの活用

強いインターフェイスの活用

多様なデバイスの活用

地域メディアとしてのケーブルテレビの役割

絶対なる地域密着と大いなる広域連携

ケーブルテレビは生活支援サービス産業



ICTをベースとした「まちづくり会社」へ